Compact ERL建物

- 素核研のアクティビティの移転
- 東カウンターホール(要改称?)の棲み分け
- 他の建物
- 概算要求(東カウンターホール改修)
- 検討事項
- 年次計画

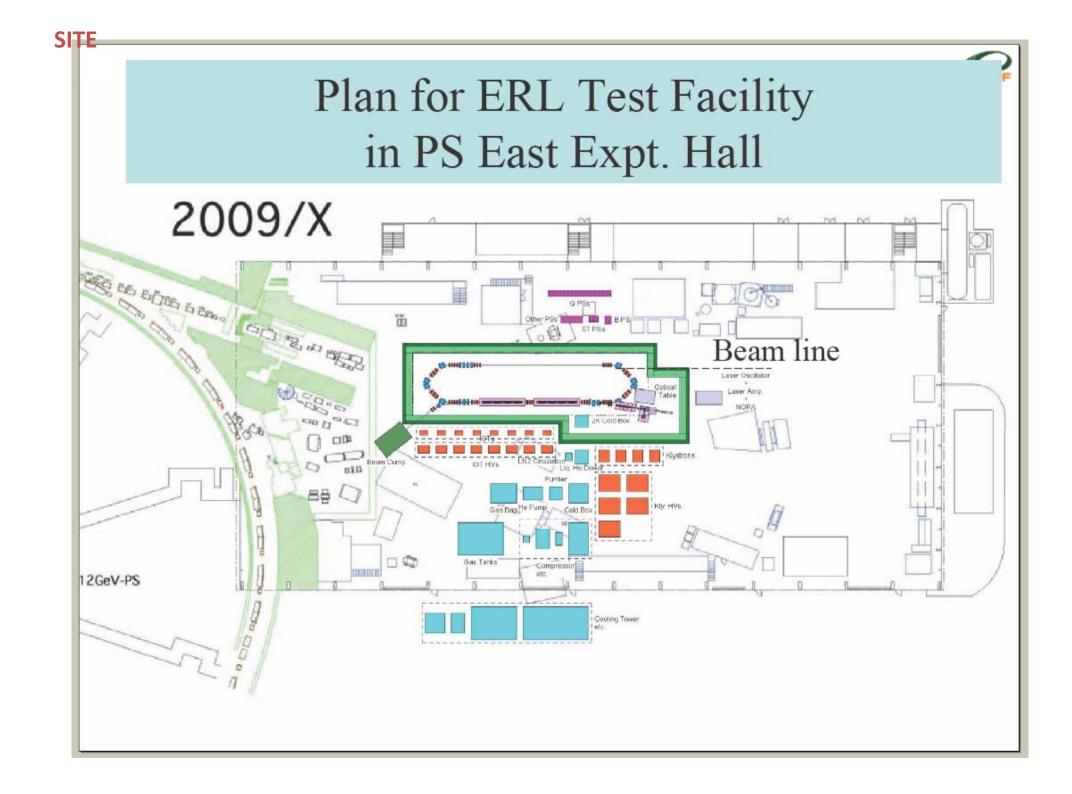
素核研のアクティビティの移転

- 期限
- 移転後の素核研のアクティビティ
- 費用負担
- 事務員引き継ぎ

まだ交渉を始めていない。夏休み以降始め ます。

東カウンターホールの棲み分け

- 他のアクティビティ "量子ビーム"等の設置場所 素核研の残留アクティビティ
- ERLコンポーネント開発冷凍機関連、電子銃、高周波源・・・

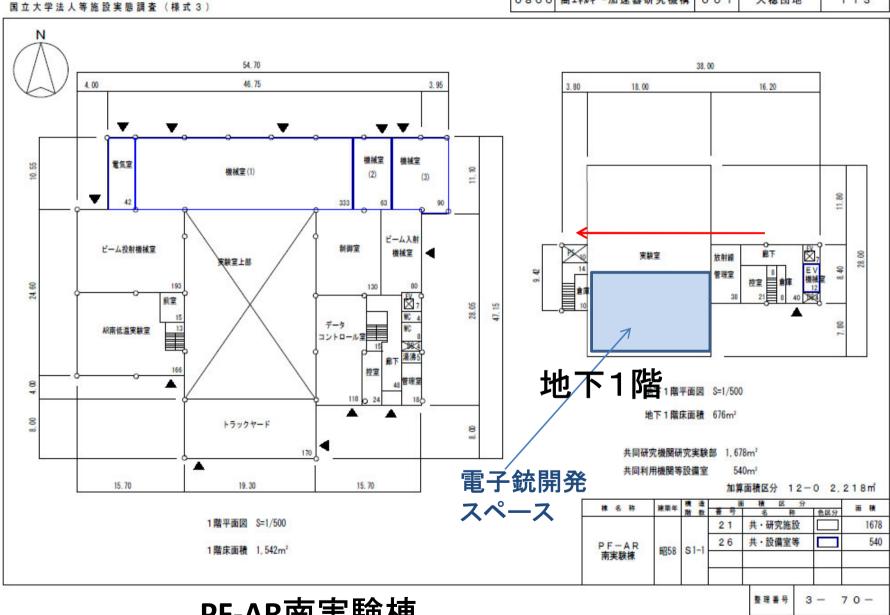


他の建物

- AR南実験棟 電子銃開発?
- AR北実験棟実験室?レーザー開発?
- PF電源棟 高周波源開発?
 - >>>すべて東カウンターホールで行う 方が良いか。(当面環境が良くない)

別 平 面 义

学校番号	学	校	名	团地番号	団 地 名	棟	番号	}
0800	高エネルキ゜ーカ	加速器	器研究機構	001	大穂団地	1	1 3	



PF-AR南実験棟



制御室

末性用仮順室

加算面積区分 12-0 2,089㎡ 建築年 微 雅 面 積 共・研究施設 1670 共・設備室等 419 昭58 S1-1

実験室

3 - 69 -

7.80

PF-AR北実験棟

24

概算要求 (東カウンターホール改修)

- 先端加速器の基礎開発研究
- (東カウンターホールに付随する部屋の) 耐震性確保
- コントロール室、実験室、研究室の確保 人材育成、産業ベースの技術革新

k¥603,750-

事業概要書

①法人名 高エネルギー加速器研究機構 大穂団地 (東海)東カウンターホール改修

②団地名

③事業名

④既存建物名 【東カウンターホール】

⑤ ■施設の現況

東カウンターホール: S3 6.948m 建築年S47(経年36年) Is/緊急度: 0.4/3)

- ⑥<施設関連>
 - ・耐震性が劣り、経年36年による老朽化が顕著である。
 - ・既存設備が省エネや維持コストの点で著しく不適切である。







[天井漏水状況]

「外壁漏水状況1]

「外壁漏水状況2]

- ⑦<主な教育・研究・プロジェクト>
 - ・先端加速器の基礎開発研究の一環として、エネルギー回収リニアックにおけるビーム 力学上の諸問題を解明するため、その中心技術である超伝導空洞の開発を行う。
- 8 ■整備の内容 東カウンターホール: S3 改修面積6.948㎡
- - ・耐震補強改修、屋根断熱、外壁断熱、内部改修など
- ⑩■施設整備による効果
 - ・高気密、高断熱化を図ることにより先端加速器の基 礎開発研究に必要な室環境となり、併せて省エネ化 やトータルコスト低減の観点から設備の最適化を図 ることが可能。
- ⑪■配置図



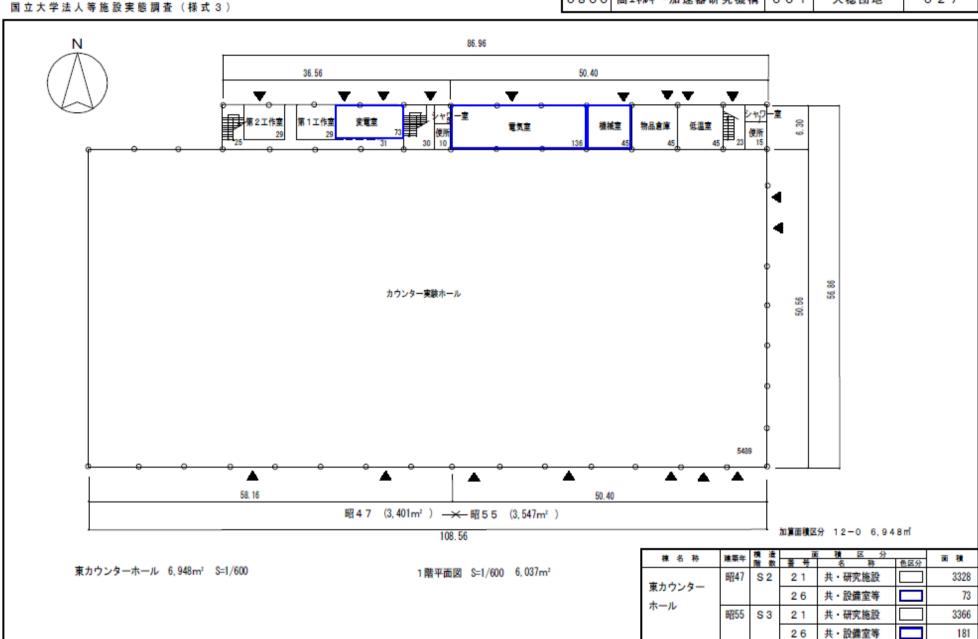
[超伝導空洞の試作機]

棟 別 平 面 図

 学校番号
 学校名
 団地番号
 団地名
 棟番号

 O800
 高エネルキー加速器研究機構
 O01
 大穂団地
 O27

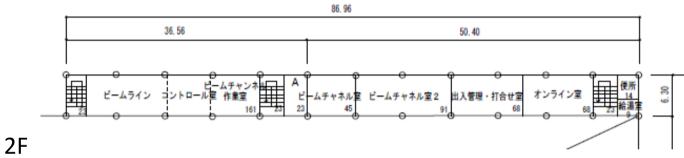
整理番号 3 - 15 - 1



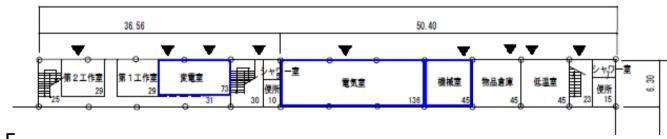






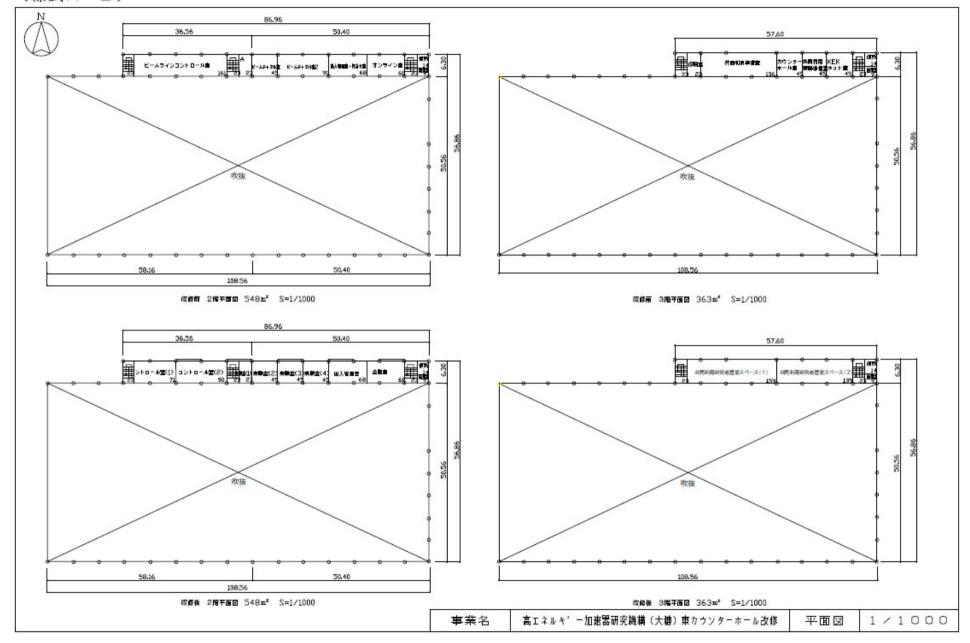






1F

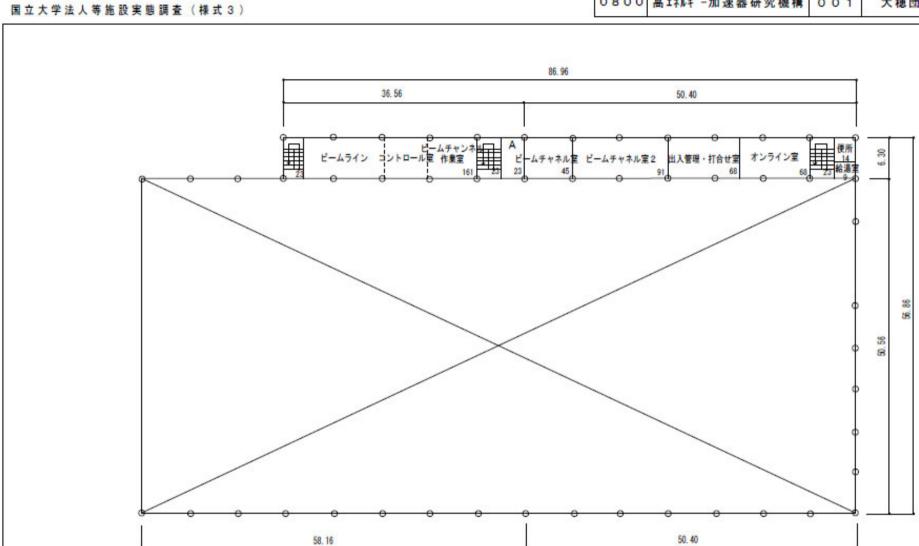
(様式A-2)



至急検討すべき事項

- 東カウンターホールで展開すべき項目
- 他の建物で展開すべき項目

学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟
0800	高工ネルギー加速器研究機構	0 0 1	大穂団地	0

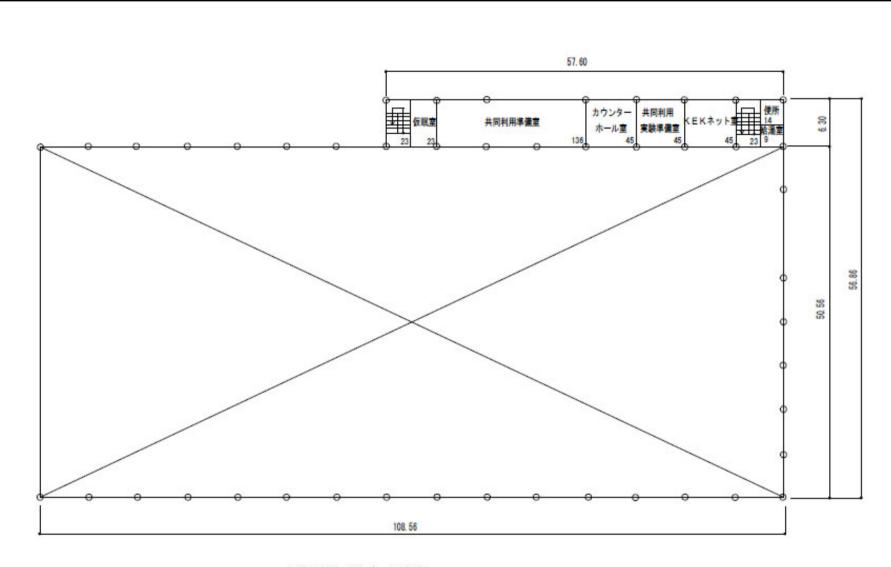


2 階平面図 548m2 S1/600

108.56

学校番号	学	梭	名	団地番号	団 地 名	棟
0800	高エネルキ ー	加速器	研究機構	0 0 1	大穗団地	0

国立大学法人等施設実態調査 (様式3)



3 階平面図 363m2 S=1/600